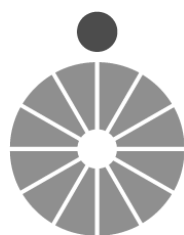


令和5年度
教師の採用等の改善
に係る取組事例



文部科学省

令和7年5月

文部科学省 総合教育政策局

教育人材政策課

は じ め に

文部科学省では、67都道府県・指定都市及び大阪府豊能地区教職員人事協議会（計68）が実施した公立学校教員採用選考試験を対象として、その実施状況及び実施方法について、調査を行っています。

令和5年度に調査を実施した公立学校教員採用選考試験の実施方法の調査結果の概要については、以下のとおり公表しました。

令和5年度（令和4年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施方法について
（令和5年12月25日公表）

【公表資料】

- ・ 令和5年度（令和4年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施方法のポイント
- ・ （参考資料）令和5年度公立学校教員採用選考試験の実施方法（第1～10表）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1416039_00010.html

このたび、上記の調査結果においては掲載していない詳細な集計表について取りまとめましたので公表いたします。

令和5年度 教師の採用等の改善に係る取組事例

目次

○ はじめに

令和5年度（令和4年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施方法について

1 試験実施区分・実施時期等

1.1 試験区分

1.1.1 試験区分①（小学校における特定の教科を対象とした選考）

1.1.2 試験区分②③（小中一括及び中高一括募集）

1.1.3 試験区分④⑤⑥（小中高一括及び特別支援学校及び特別支援学級）

1.2 地域枠を設けた選考の実施

1.3 学校種間または特定教科に関する併願受験の実施（養護教諭・栄養教諭を除く）

1.4 出願受付期間・受付方法・試験実施日・採用内定等時期

1.5 秋募集の特別選考等を別途実施

1.6 採用説明会・採用選考試験の実施場所

1.7 広報活動の取組①②

2 採用選考試験の内容

2.1 小学校専門教科試験、筆記試験の評価方法

2.2 実技試験の実施状況

2.2.1 実技試験の実施状況（小・外国語）

2.2.2 実技試験の実施状況（中・英語）

2.2.3 実技試験の実施状況（高・英語）

2.3 面接1次

2.3.1 面接1次（個人・教職以外担当）

2.3.2 面接1次（個人・面接内容）

2.3.3 面接1次（集団・教職以外担当）

2.3.4 面接1次（集団・面接内容）

2.4 面接2次

2.4.1 面接2次（個人・教職以外担当）

2.4.2 面接2次（個人・面接内容）

2.4.3 面接2次（集団・教職以外担当）

2.4.4 面接2次（集団・面接内容）

2.5 面接3次

2.5.1 面接3次（個人・教職以外担当）

2.5.2 面接3次（個人・面接内容）

2.5.3 面接3次（集団・教職以外担当）

2.5.4 面接3次（集団・面接内容）

3 特別の選考

3.1 英語の資格等による特別の選考による特別の選考

3.2 スポーツの技能や実績による特別の選考

3.3 芸術の技能や実績による特別の選考

- 3.4 国際貢献活動経験等やグローバル社会に対応した教育経験による特別選考
- 3.5 民間企業等経験による特別の選考
- 3.6 教職経験による特別の選考
- 3.7 前年度採用選考試験での実績による特別の選考
- 3.8 いわゆる「教師養成塾」の実施と特別の選考
- 3.9 大学・大学院推薦による特別選考
- 3.10 教職大学院修了による特別の選考
- 3.11 博士号取得による特別の選考
- 3.12 複数の教員免許状の所持による特別の選考
- 3.13 専修免許状の所持による特別の選考
- 3.14 情報処理技術等の資格の所持による特別の選考
- 3.15 司書教諭任用資格の所持による特別の選考
- 3.16 臨床心理士、公認心理士等の所持による特別の選考
- 3.17 社会福祉士、精神保健福祉士等の所持による特別の選考
- 3.18 社会教育士の取得による特別の選考
- 3.19 手話通訳士の所持による特別の選考
- 3.20 特別支援（自立活動）による特別の選考 ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等
- 3.21 外国語堪能（英語以外）
- 4 大学院在学者・進学者に対する特例
 - 4.1 大学院在学者・進学者に対する次年度以降の採用選考試験における特別の選考（対象校種・教科、受験資格、特別の選考の内容）
 - 4.2 大学院在学者・進学者に対する採用候補者名簿の登載期間の延長・採用の延長（対象校種・教科、備考）
- 5 障害のある者への配慮
 - 5.1 障害のある者を対象とした特別の選考
 - 5.1.1 選考の実施内容
 - 5.1.2 障害のある者の採用促進に向けた取組
 - 5.2 試験時における障害のある者への配慮
 - 5.2.1 試験時における配慮の有無、障害のある者への配慮の周知方法
 - 5.2.2 筆記試験における配慮（視覚障害）
 - 5.2.3 筆記試験における配慮（聴覚障害）
 - 5.2.4 筆記試験における配慮（肢体不自由）
 - 5.2.5 実技試験・面接試験時の配慮
 - 5.2.6 筆記試験・実技試験・面接試験時以外の配慮
 - 5.2.7 備考
- 6 受験年齢制限
- 7 採用選考の内容・基準等の公表
 - 7.1 試験問題、解答、配点
 - 7.2 公表範囲、公表時期、公表方法、公表事項
 - 7.3 成績の本人への開示（1次試験）
 - 7.4 成績の本人への開示（2次試験）
 - 7.5 成績の本人への開示（3次試験）

8 提出書類等

- 8.1 提出書類
- 8.2 志願書や自己アピール等の提出書類において記載を求める社会体験等
- 8.3 願書等における賞罰の記載、備考
- 8.4 願書等における懲戒処分歴の記載

9 不正防止のための措置

- 9.1 問題作成、面接、採点、データ入力、集計等の業務段階ごとのチェック体制
- 9.2 各受験者の筆記試験の答案や面接の判定等の元データと選考後の確定データとの突合チェック
- 9.3 業務における受験者の匿名化
- 9.4 公正な面接試験の確保
- 9.5 教員免許状の有効性の確認
- 9.6 その他の不正防止措置